

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR201E
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 第 1 分野
研究開発課題名	: 6G ネットワークに向けた長波長帯単一モード面発光レーザを基盤とした光トランシーバの開発
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: 富士通オプティカルコンポーネンツ株式会社
研 究 責 任 者	: 小山 二三夫(東京工業大学)

評価結果の総合所見

本課題は高速単一モード VCSEL と小型モードフィルタの技術開発及び量産技術開発を通じ、6G 移動体通信・データセンター向け 100～400Gbps の高速単一モード光ファイバ伝送用光トランシーバの開発を目指すものである。

目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。ほとんどの項目で、目標以上の性能が達成されており、高く評価できる。また、業界動向や競合技術についてもしっかりした情報収集、対応を行っている。イノベーション創出が期待できる。

現在 800G モジュール試作で性能評価が順調に進められており、2026 年の上市に向けて量産化の計画がきちんと立てられている。技術的にも現時点でトップであり、今後は残された課題をクリアしてスピード感をもって事業化に成功することを期待する。

以上